

2014年1月26日

お客様各位

株式会社マルハニチロホールディングス
代表取締役社長 久代 敏 男

お詫びとお知らせ

昨年末以来、アクリフーズ群馬工場生産品から農薬が検出された件に関しまして、体調不良・健康不安をお申し出られたお客様には、多大なご不安を与えましたことを深くお詫び申し上げます。

該当商品をご購入されたお客様ならびに、関係各方面に多大なご迷惑とご心配をおかけしたことを改めてお詫び申し上げます。

「食の安全・安心」を最も重要な経営課題として掲げてきた企業グループの責任者として、誠に申し訳なく、改めて深くお詫び申し上げます。

このたび、アクリフーズ群馬工場に勤務しておりました準社員が、意図的に農薬を混入させた疑いで逮捕される事態となりました。

まだ容疑の段階ではございますが、事実とすれば、グループ内に悪質な犯罪行為におよぶ人物の存在を許したことは、痛恨の極みであります。

まことに慚愧の念に堪えません。

混入の経緯・背景につきましては、捜査の進展を待ち、その原因究明と再発防止に努めてまいります。

今後とも、早期の全容解明に向けまして、引き続き捜査当局に全面的に協力してまいり所存でございますので、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

また、今回の事案に対する当グループのこれまでの対応におきまして、私どもとして【3つの問題点】があったと考えております。

問題点の一つ目は、工場の食品安全管理体制には万全を期しておりましたが、従業員による農薬の混入を許してしまった事

二つ目は異臭に関するお申し出から商品の自主回収決定まで約一か月半の時間を費やしてしまった事

三つ目は、食品安全基準についての認識に誤りがあり、お客様の不安を更に増大させてしまった事

であります。

日頃より、食の安全・安心に注力してまいりましたが、今回の事件を通し、今まで構築してきたグループ全体の食品安全管理を含めた品質保証体制および危機管理体制が不十分であったと反省せざるを得ません。

これらの問題を真摯に受け止め、再発防止策の早期策定および実行を含め、グループの総力を挙げ、信用回復に努めてまいり所存です。

引き続き、商品の全回収を行ってまいります。ご迷惑をおかけいたしまして誠に申し訳ございませんが、お客様の冷凍庫の中に対象となる商品がないか、いま一度ご確認頂きたくここにお願い申し上げます。

まだ、捜査の途中であり、混入の経緯や背景は不明ですが、再発防止策として下記の点を実施します。

まず、海外を含めたグループ企業 関連工場全体に対し、工場持ち込み禁止物の確認徹底、工場内の監視体制の強化など、再点検をすでに実施しております。

さらに、外部専門機関による食品安全管理 実施状況の総点検を、1月22日、23日のマルハニチロ食品広島工場、下関工場をはじめとして、順次、実施してまいります。

食品安全管理、危機対応体制に関するグループの抜本的対応策につきましては、社外有識者からなる第三者検証委員会（委員長：今村 知明 奈良県立医科大学教授）を1月31日に発足させ、今回の事態について客観的、専門的な見地から検証してまいります。

委員会より早期に、検証の最終報告と再発防止に関する提言を頂き、直ちに再構築計画を策定、実施してまいります。

グループ品質保証体制につきましては、第三者検証委員会の提言を受けながら、食品安全、食品安全保障、食品防御の観点から品質保証体制を棚卸して、抜本的な改善を図るとともに、CSR経営の原点に帰ってグループ全従業員の意識改革に取り組んでまいります。なお、グループ内関係者に対する処分につきましては、別稿（http://www.maruhanichiro.co.jp/files/20140126_aqli_gunma_nouyaku-kensyutu_syobun.pdf）をご参照お願い申し上げます。

これから、マルハニチログループの信用回復に向けまして、従業員一同一丸となって尽力してまいります。

なお一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

以上